



日高町社会福祉協議会・北海道共同募金委員会主催

子ども発達支援研修会開催

9月5日、門別ふれあいセンターにおいて、子ども発達支援研修会が開催されました。

北海道発達障害支援センターあおいそらの片山智宏副センター長が講師として、「発達障害のある子どもの理解と自立に向けた支援について」をテーマに講演が行われ、保護者や療育、保育、保健事業に携わる職員らが参加し、特性を踏まえ、正しく理解・支援していき、本人が人間不信に陥らず他者からの介入を肯定的に受け入れられるように対応していくことが大切だということを学んでいました。



町内各地区で敬老会

長寿を祝い敬老会開催

8月31日から9月20日にかけて、町内の各地区で、長寿を祝い敬老会が開催されました。

参加対象となる75歳以上の総数は2,204名。

最高齢の106歳の方を筆頭に、100歳以上の方が11名。

8月31日に行われた本町地区敬老会では、獅子舞や舞踏、門別音頭、抽選会など、多数のアトラクションが行われ、会場は終始なごやかな雰囲気、参加者の皆さんの会話も弾んでいました。



撮影：日高町地域おこし協力隊 島山公安

2日間で300kmを走破

日高ツーデイズエンデューロ

9月14日、15日の2日間、今年で35回目を迎えたオフロードバイクの大会「日高ツーデイズエンデューロ」が開催され、全国から140名の選手が参加しました。

今大会では、カナダから外国人選手1名も参加し、日高山脈を中心とした特設コースを2日間、約300kmを疾走しました。

スタートとゴール地点となった沙流川温泉ひだか高原荘周辺の特設会場では、バイクの音と声援により、熱気で溢れていました。



北海道胆振東部地震災害を教訓に

日高西部消防組合災害活動訓練実施

9月10日、日高西部消防組合による災害活動訓練が同組合庁舎前において実施されました。

車3台が絡んだ多重事故や、地震による住宅火災・住宅倒壊を想定した救助訓練が行われ、災害技術の強化・向上、関係機関及び消防組合内の連携を確認しました。

救助活動では、無人航空機(ドローン)による偵察活動を展開し、災害対応能力の構築・強化を図るよう訓練に励んでいました。



秋の交通安全運動

旗の波で交通安全啓発

9月20日、門別警察署前において、秋の交通安全運動(21日～30日)の開始式と、ドライバーへの交通安全啓発として旗の波が行われました。

富川高校吹奏楽部による演奏会も行われ、交通安全の願いを込めて演奏されました。

田村厚己門別署長は、「事故撲滅を目指し強い気持ちで頑張りましょう。」とあいさつされ、門別地区交通安全協会や地域交通安全活動推進委員など約50名の参加者へ、交通安全と事故防止を呼びかけました。



アイヌ民族の英雄シャクシャイン

シャクシャインロード記念旗リレー

9月17日、長万部町と北海道アイヌ協会が企画した、シャクシャインロード記念旗リレーが、日高町イザベラ・バードフットパス案内標識前を訪れ、日高アイヌ協会を代表して、門別初男会長が旗の引継ぎ式を行いました。

この事業は、シャクシャイン没後350年の本年に、アイヌ・和人双方に対する慰霊の意を表す記念旗を作成し、シャクシャイン古戦場跡碑のある長万部町からシャクシャイン法要祭が行われる新ひだか町まで、リレー方式で旗を運ぶもので、9月7日から23日までの13日間で行われました。



地域貢献活動として

日高町建設協会が清掃作業実施

9月26日、日高町建設協会により、地域貢献活動の一環として、町道富川北平賀16号線(ルシナ前)歩道清掃を行っていただきました。

歩道清掃作業は、19社の事業所から40名が参加し、歩道に堆積した土砂の除去や街路樹の除草など、竹ぼうきやスコップなどを使って、丁寧に清掃され、町民の方々が快適に歩けるようとてもきれいに清掃していただきました。



日高町婚活パーティー

2組のカップルが成立

9月23日、門別温泉とねっこの湯で日高町婚活パーティーが開催されました。

結婚を真剣に考える方を対象に参加者を募集し、男性は町内から6名、女性は町外から6名が参加しました。

牧場見学やパークゴルフ、ほおずきの収穫体験などを行ったり、地場産品を使った料理を囲みながらの交流会では会話も弾み、今回のイベントでは2組のカップルが成立しました。